

業務用 薄型ビデオディスプレイ壁掛金具 取扱説明書



- 耐荷重: 70kgまでのフラットディスプレイに対応します。
- 木柱又はコンクリート製の壁面への取付に適応します。
- マウントパターン: VESA200 x 200から400 x 400までユニバーサルに対応します。
- 同梱の拡張アダプターを使用するとVESA600 x 400まで対応します。
- 縦設置・横設置 両ディスプレイ対応
- ディスプレイ設置後、ディスプレイ同士の調整が工具不要、手回しノブで簡単に調整できます。
- プッシュ式 引き出し・収納機能搭載



目次

安全上のご注意	2
部品表	3
引き出し・収納時のバネ圧の調整	4
手回しノブの交換 (小さいディスプレイを搭載する場合)	5
取付け方法	5
製品寸法	9

設置に使用する工具類

⊕・⊖ドライバー



電動ドリル



ドリルビット



ペン



水準器



総輸入元: <http://www.studiotech.jp/b-tech/>

スタジオテック株式会社

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともディスプレイと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。BT8310 V4 業務用薄型ディスプレイ壁掛金具は、総重量70kg以下の液晶等の薄型ディスプレイを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型ディスプレイの取り付けには絶対使用しないで下さい。この指定を守らないと、薄型ディスプレイが落下して、けがをししたり、ディスプレイが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湿気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
又、エアコンの上や下にディスプレイを取り付けしないで下さい。ディスプレイに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとディスプレイの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



ディスプレイの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。
ディスプレイが落下して、けがをししたりディスプレイが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、ディスプレイや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、ディスプレイや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、スタジオテック（株）に連絡して下さい。
尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



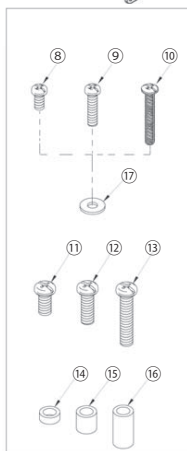
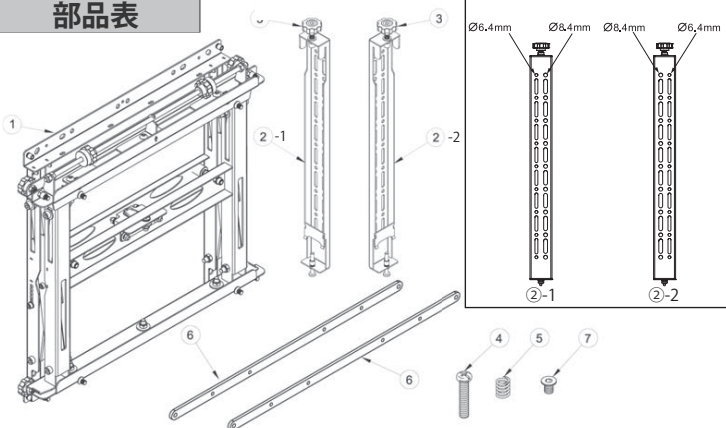
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



スタジオテック（株）は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

BT8310 V4 部品表

注意：ディスプレイ・ブラケットには2種類あります



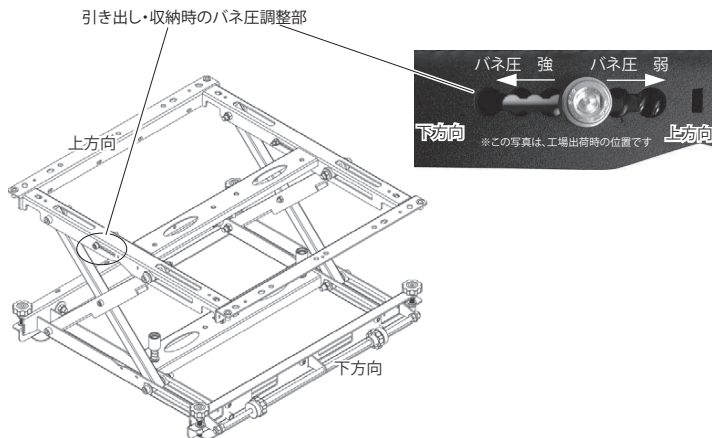
販売店様・工事業者様へ
ディスプレイの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は専門の工事業者様が取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。

	部 品 表	梱包数
①	壁掛金具	1
②	ディスプレイ・ブラケット	2
③	手回しネジ	2
④	M8 x 40mm ネジ (小型ディスプレイ用オプション)	2
⑤	予備スプリング	2
⑥	VESA600 x 400拡張アダプター	2
⑦	M8 x 12mm平頭ネジ(⑥VESA拡張アダプター固定用)	4
⑧	M6 x 16mmVESA用ネジ	4
⑨	M6 x 25mmVESA用ネジ	4
⑩	M6 x 40mmVESA用ネジ	4
⑪	M8 x 16mmVESA用ネジ	4
⑫	M8 x 25mmVESA用ネジ	4
⑬	M8 x 40mmVESA用ネジ	4
⑭	M8 x 5mm スペーサー	4
⑮	M8 x 13mm スペーサー	4
⑯	M8 x 25mm スペーサー	4
⑰	M6 ワッシャー	4

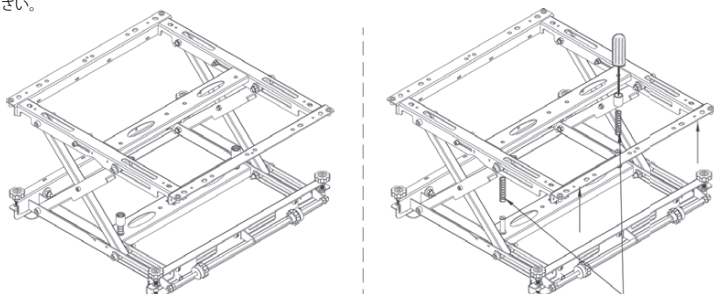
壁掛できるディスプレイは総重量
70kg以内です。

引き出し・収納時のバネ圧を弱める

工場出荷時の引き出し・収納時のバネ圧を調整したいときには、下図のようにバネ圧調整部を動かして調整してください。



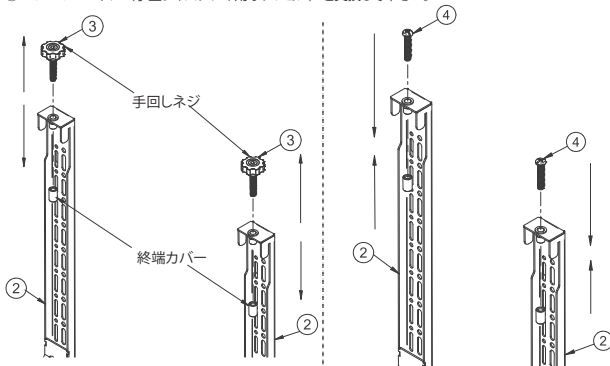
工場出荷時の収納時の押し込みバネ圧を弱めたいときには、下図のように部品番号⑤の予備スプリングと交換して下さい。



⑤ 部品番号⑤の予備スプリングと交換して下さい。

手回しネジ → 小型ネジの交換

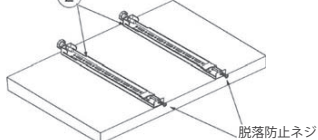
小さなディスプレイを取付けたときに、スプレイの外枠から③手回しネジが見えることがあります。そのときには、③ 手回しネジを ④ M8 x 40mm ネジ（小型ディスプレイ用オプション）と交換して下さい。



取 付 方 法

1. ディスプレイ・ブラケットの取付

② ディスプレイ・ブラケット

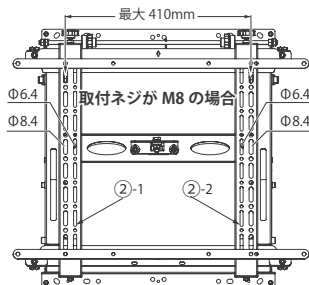
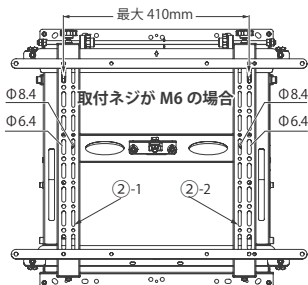


1-1. 部品表の⑧から⑩までのパーツを使ってディスプレイ・ブラケットを取付けます。

※全ての部品を使う必要はありません。

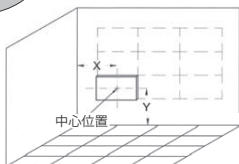
1-2. この時、ディスプレイ・ブラケットについている「脱落防止ネジ」を緩めておきます。

注意：VESA400 x 400のディスプレイに取付ける場合は下図のように外側のネジ穴に取付けてください。

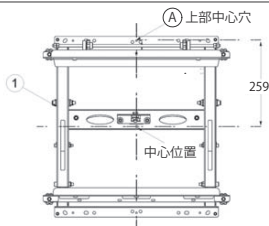


取 付 方 法

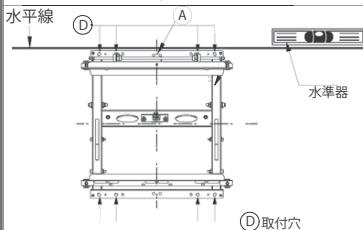
2. 最初の壁掛金具の取付



2-1. 取付けよとするディスプレイの左下に位置するディスプレイの中心位置を割り出して、左図の X ならびに Y の寸法を計測して下さい。



2-2. 中心位置から 259mm 上部の ④ の位置に、上部中心穴を合わせ、ペンで印を付けてください。



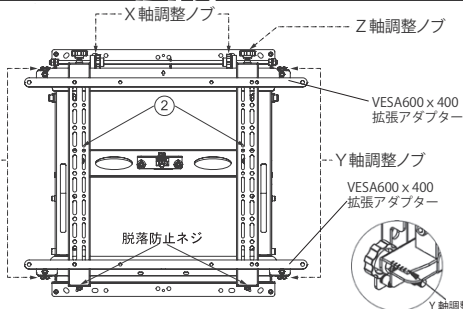
2-3. 壁掛金具を 2-2 で印をつけた上部中心穴印
 ④に位置合せし、水準器等で水平を確認しながら、
 ④取付穴に上部 2 点、下部 2 点の取り付け穴
 用の印をつけます。

上記の④取付穴 に市販のアンカー・ボルトを使って壁掛金具を取付けます。

3. 金具の調節

Z軸の調整範囲:最大14mm
Y軸の調整範囲:最大14mm
X軸の調整範囲:最大5mm (VESA400時)
最大105mm(VESA300時)
最大205mm(VESA200時)

Y軸調整ノブ



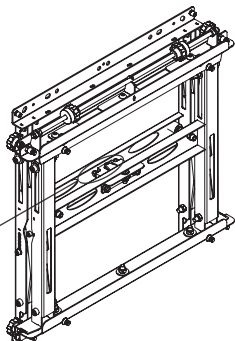
※ 調整ノブの締めすぎにご注意ください。 調整域以上に締め過ぎると金具が変形したり破損の原因となることがあります。

POP-LOCK部の調整禁止箇所

下図の2か所のPOP-LOCKのキャッチャー部分にあるナットでは調整はできません。絶対に触らないでください。



※ このナットを緩めるとPOP-LOCK部の調整ができなくなります。



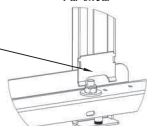
4. ディスプレイブラケットの壁掛金具への取付

①壁掛金具に②ディスプレイ・ブラケットを掛ける時は以下の点に注意して、壁掛固定の調整を行って下さい。

3-1 ①壁掛金具のX軸(横)調整ノブが、2本の②ディスプレイ・ブラケットの間に入るように配置してください。

3-2 ①壁掛金具の上下取付部に②ディスプレイ・ブラケットがきっちりと掛かっていることを確認して下さい。

下部取付部



3-3 ①壁掛金具の中心から等距離の位置に2本の②ディスプレイ・ブラケットが来るように、X軸(横)調整ノブを使って調節して下さい。

BT8310/8311で複数台のモニターを取付ける場合は、下図およびカッコ内の指示に従って取付を行って下さい。

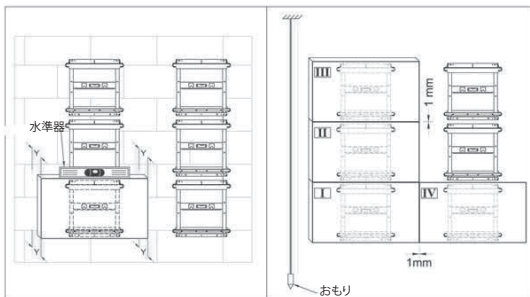
3-4 水準器を使って平衡を確認しながら横方向にディスプレイを並べ、左右のディスプレイの隙間が1mm空けて並ぶようにX軸(横)調整ノブを使って調節して下さい。

3-5 ディスプレイの背面から壁面の距離が等距離になるようにY軸(奥行)調整ノブを使って調節して下さい。

3-6 ディスプレイを縦方向に並べるときは、鎌を使って垂直を確認しながら縦方向にディスプレイを並べ、上下のディスプレイの隙間が1mm空けて並ぶように、Z軸(縦)調整ノブを使って調節して下さい。

3-7 ディスプレイを掛け終わったら、6ページの1-2で緩めた⑤脱落防止ネジを締め付けてください。

3-8 ケーブル固定用穴を設けていますので、必要に応じて結束バンド等を使用してケーブルを固定して下さい。

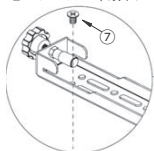


VESA600 x 400拡張アダプターの取付

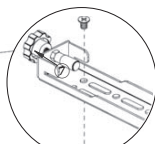
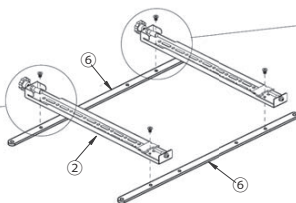
VESA600 x 400 に対応するためには、下図の手順で⑥VESA600 x 400 拡張アダプターを取付けて使用してください。

テレビが横向きマウントの場合

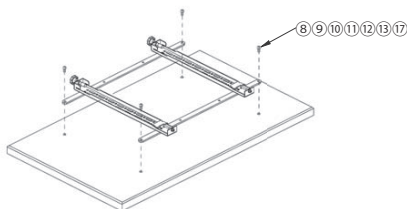
⑦ M6 x 16mm平頭ネジ



取付穴は左側の穴を使用してください

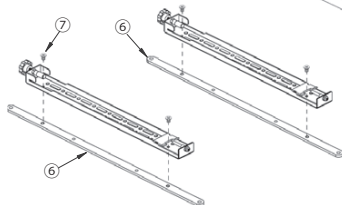
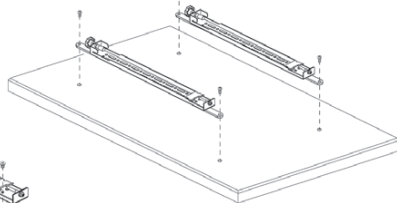


取付穴は右側の穴を使用してください

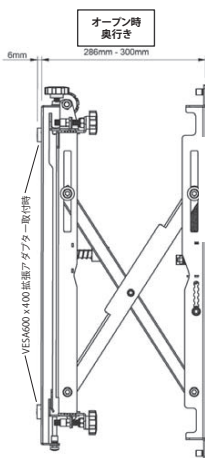
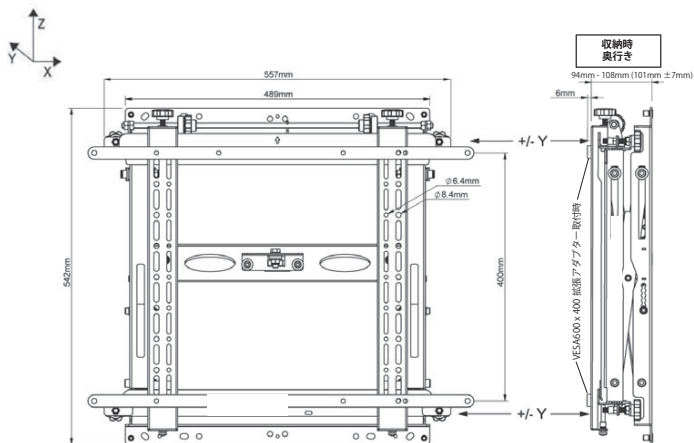


テレビが縦向きマウントの場合

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑰



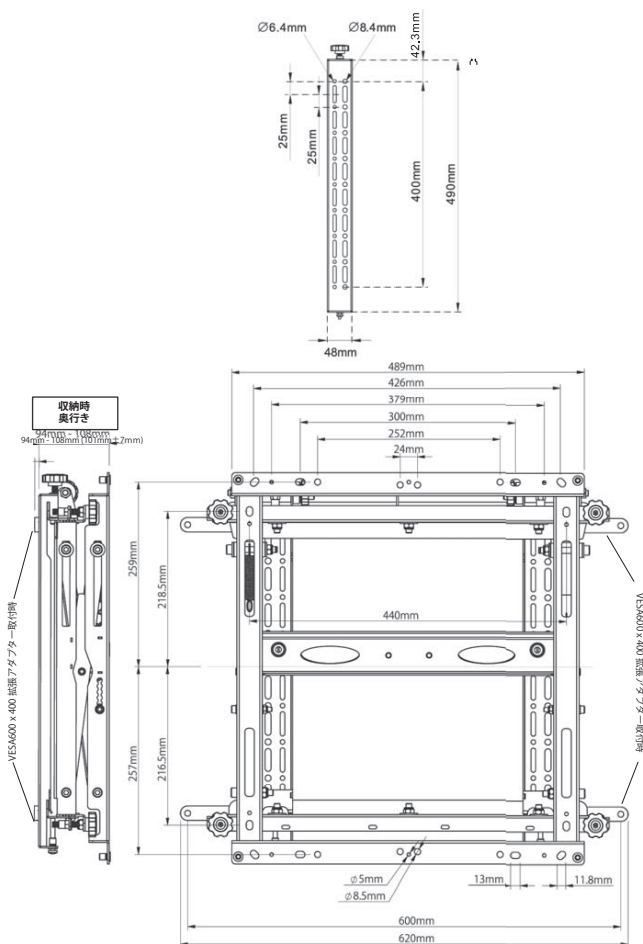
BT8310 V4 外観図



仕様は、改良のために予告無く変更することがあります。

BT8310 V4 外観図

ディスプレイ・ブラケット



Memo

BT8310

<http://www.studiotech.jp/b-tech/>

